

待降節第2週 聖餐礼拝

2016年12月4日

第一礼拝(8:00～) 聖餐礼拝(午前10:30～) 夕拝(しばらく休会)

前奏	(新聖歌41)	司会者
聖餐の招詞	司会者
※賛美	新聖歌46「わが主よ 今ここに」	司会者
聖書交読	交読文53「ルカの福音書第22章」	司会者
祈禱	司会者
分餐	(新聖歌53)	司会者
感謝の賛美	新聖歌68「久しく待ちにし」	司会者
聖書朗読	『ヨハネの福音書』1章6-13節(新約172頁)	司会者
黙想	司会者
説教	「まことの光を求めて」	近 伸之牧師
黙想	司会者
※応答の賛美	新聖歌270「歌えど尽きせぬ主の誉れ」	司会者
感謝の献金	(新聖歌58)	横堀 信子姉
感謝祈禱	横堀 信子姉
諸報告	司会者
※頌栄の賛美	新聖歌61「御恵みあふるる」	司会者
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	司会者
※祝福の祈り	近 伸之牧師
※後奏	(新聖歌59-7)	司会者

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立ください)

第一礼拝	司会・説教・演奏機：近 伸之牧師	献金：沼田佐代子姉	配餐：片山 勝三兄
司会	：近 伸之牧師	録音・操作：山崎 敬典兄	C S 担当：佐藤 繁実兄
集会	：小林 洋子姉	配餐：片山 勝三兄	
映像	：近 伸之牧師	説教の録画：近 伸之牧師	掃除：長谷川睦子姉

説教メモ

- 1) 生物が光刺激を受けたときの選択行動を「正(負)の走光性」と呼ぶ。人間は光と闇、どちらを選ぶか。
- 2) 神は、ご自分の民イスラエルにイエスを与え、世界に救いを伝えようとしたが、民は受け入れなかった。
- 3) 負の走光性で歩んでいた者が、今光を求めているならば、それが神が救いの扉を開かれた証である。

先週のみことば

すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。

(ヨハネ1章3節)

今週のみことば

しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。

(ヨハネ1章12節)

個人、団体からの来信

2016年12月4日

教団紙『世の光』第795号／新潟福音放送協会よりニュースレターNo.227／
アブラハムのしもべ会より鍋パーティー中止のお詫びとご案内／
東北ヘルプ／「インマヌエル通信」第7号／KGK東北

先週の集会出席者数

11/27(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児- 成人男性- 幼児女子2 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児- 成人女性3		
	第一礼拝	男2 女5 計7	※月に一回、実用書道教室を開催	
	歓迎礼拝	男12 女19 計31	11/28(月) 月曜家庭集会	男3 女4
	(子ども)	男児1 女児4	11/30(水) 救 禱 会	男3 女4
		※夕拝はしばらく休会としています	12/2(金) シャベリ場タビタ	男- 女3
			12/2(金) 金曜祈禱会	男- 女4

諸集会のご案内

	※月に一回、実用書道教室を開催		
	月曜家庭集会	(休会)	
12/7(水)午後7:30	阿賀野祈禱会	教会堂	司会：笹川 清子姉
12/9(金)午後1:30	シャベリ場タビタ	渡邊智子姉宅	問合せ先：渡邊 智子姉
12/9(金)夜	金曜祈禱会	教会堂	

12/11(日) 待降節第3週

第一礼拝	司会：近 伸之牧師	演奏機：片山 勝三兄	
午前8:00	説教	献金：沼田佐代子姉	
教会学校	午前9:00	担当：片山 初子姉	
第二礼拝	司会：伊東 一馬兄	音響・操作：片山 勝三兄	感謝祈禱：横堀 正美兄
午前10:30	集会：小山 千春姉	映像：近 伸之牧師	掃除：横堀 信子姉
礼拝について	(前奏：41) 開会：71 感謝：275	応答：(献金：58) 頌栄：61 派遣：54	
午後の予定	※諸般の事情により、夕拝はしばらくの間休会とします		

報 告

1. 礼拝の感謝

聖餐礼拝の恵みを感謝します。十字架の贖いを心に刻みつけて、新たな一ヶ月を歩みましょう。

2. 国外宣教カレンダーについて

先月、『世の光』紙と併せて「国外宣教カレンダー2017」のお知らせを兼ねた注文書を家庭ごとにお配りしました。注文を締め切りしたいと思いますので、ご希望の方は牧師家にお知らせください。

3. 今週の予定

- 5日(月) 午後2:00 山の下福音教会において新潟福音放送協会の県委員会
- 6日(火) 午前中 新発田友の家にて近牧師がクリスマスメッセージ
- 同日 午後7:15より 当教会において定例役員会

東京都に住む、富岡大くんという小学生が、「はじめて見たおとうさんの涙」と題して、こんな文章を書いています。

福島のおばあちゃんが死にそうになったので、急に夜9時のひたち51号にのることになった。おとうさんは日曜日から行ってたので、ぼくとおかあさんと、さとの三人で行くことになった。

おかあさんは、ぼくがモタモタ歩いてたら、「この電車にのりおくれたら、もうあしたになっちゃうんだからね」と、おこってぼくのかみの毛をつかんで、ものすごくこわかった。

平についたのは11時50分くらいだった。おじさんやおばさんがいっぱいいて、ふとんの中で、おばあちゃんがくるしそうだった。おじさんが、おばあちゃんの手をにぎって、「ほら、東京から道子さんと大君とさとし君がきましたよ」といったけど、おばあちゃんはきこえないみたいだった。

次の日、おばあちゃんはしんでいた。いとこが、「午前2時53分にしんだの」といった。次の日、火そうした。もやす時、みんなわんわんないた。ぼくもないた。ぼくはおとうさんがないたのをはじめて見た。

おばあちゃんの死を体験しての、大くんの悲しさ、また、その死がどれほど大きなことかという認識。子どもの率直な目が現実をしっかりとらえています。

人が死ぬということ、しかも親しい誰かの死を経験するというのは、言葉ではどうも表現できないほどの悲しさ、つらさ、痛みをもたらします。しかしそれは避けることのできない現実でもあります。だれもが、死を自分のこととして、しっかりと受けとめていかなければなりません。「ぼくは、おとうさんがないたのをはじめて見た」と大くんが書いていますが、死というものは、厳しさを乗り越えて過酷なものと言えましょう。

死は、それと対決している者にとっては、痛みであり苦しみであり、また大きな不安です。また、まわりの者にとっては、言葉にできないほどの悲しみであり、何ひとつあげられないがゆえ、もどかしさもあります。愛する者には、代わりになれるものなら、という願いさえ起こってきます。

しかし、この死の厳粛な瞬間を支配しているのは、真の神です。その神が、あなたのために備えておられる天の住まいがあります。この事実の確信は、避けることのできない死への恐れ、不安、悲しみを、しっかりと超克させてくれるものです。イエス・キリストはこう言われます。

「わたしは、よみがえりです。いのちです。
わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」
(ヨハネの福音書11章25節)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



12/10(土)「塩狩峠」難波真実さん

作家・三浦綾子さんの代表作『塩狩峠』は、今年、雑誌連載開始から50年を迎え、国内出版部数は370万部を超え、海外でも多くの国々で翻訳されています。この作品は、ひとりの青年が人間として成長していく姿を描いていますが、「人はいかに生きてゆくのか」「本当の愛とは何か」を問いかけています。『塩狩峠』の舞台や背景を紹介しながら、三浦綾子記念文学館の事務局長・難波真実さんにお話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGIN. ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。



葉牡丹の渦一鉢にあふれたる 西島麦南

2016年度教会目標

「信仰の家族に善きことを」

年間目標 それぞれに違った賜物が与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ
「機会のあるあいたに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行いましょ」(ガラ6:10)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう
「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として
「御名がまた語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL:025-387-4934 FAX:025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

